

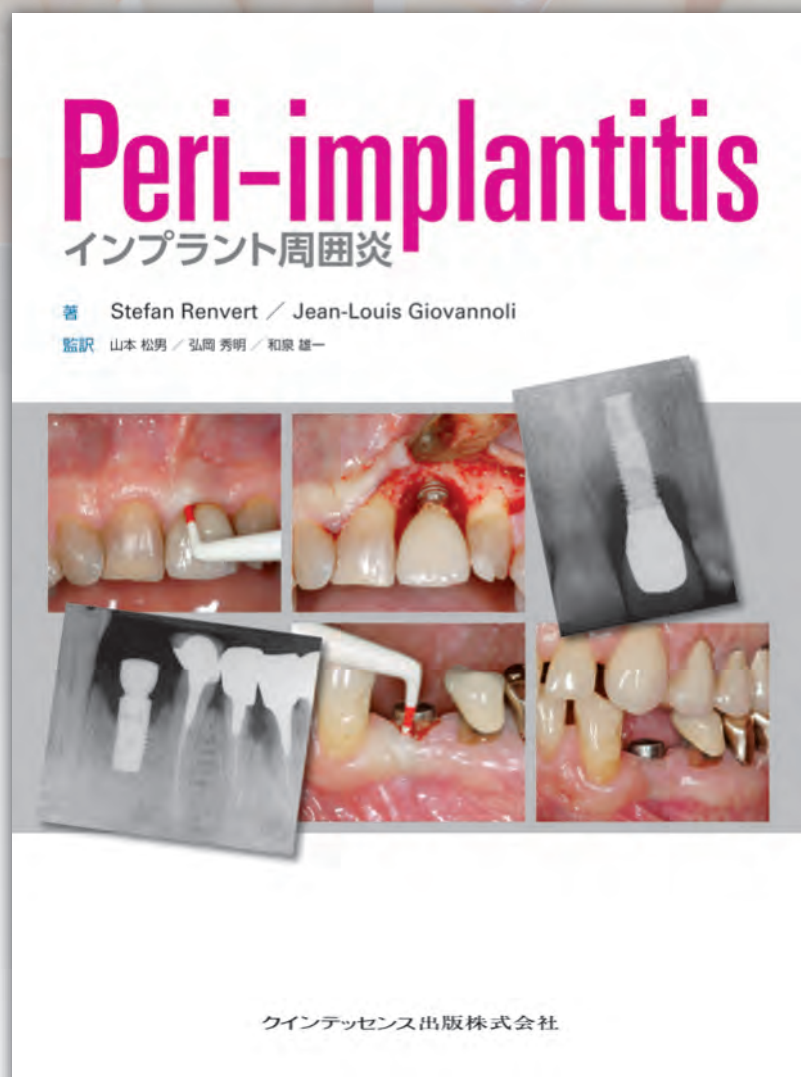
Peri-implantitis

インプラント周囲炎

著 Stefan Renvert / Jean-Louis Giovannoli

監訳 山本 松男 / 弘岡 秀明 / 和泉 雄一

インプラント周囲炎の**診断、リスクファクター、治療法**を一冊に網羅



日常的にインプラント治療が行われている今日、インプラント周囲炎の罹患率は必然的に増加している。インプラント周囲炎は新たな疾患であり、一度発症すると治癒させることが非常に困難なことから大きな問題となっている。本書では、多くの症例の提示とともにインプラント周囲疾患について解説がなされ、なすべき対応が簡潔に示されている。また、診断、リスクファクター、治療、メンテナンスなどについても国際的な観点からまとめられている。日常治療に不可欠な知識が網羅された本書を臨床で活用してほしい。

●サイズ:A4判 ●272ページ ●定価:15,750円(本体15,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



TABLE OF CONTENTS

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 病 因 | 6. 治 療 |
| 2. 診 断 | Appendix 治療に関する文献一覧表 |
| 3. 発症率 | 7. インプラント周囲軟組織の状態 |
| 4. 初期インプラント周囲炎 | 8. メンテナンス |
| 5. リスクファクター | |

<序文より抜粋>

信頼できる疫学データによれば、インプラント患者のうち5人に1人はインプラント周囲炎を発症し、また、インプラント周囲粘膜炎は日常的に認められる症状であると報告されている。

インプラント周囲炎は感染性の炎症性疾患であり、最終的にはインプラントを支持する歯槽骨の喪失につながる。

インプラントの長期的成功を望み、また口腔感染性疾患の予防や治療を行うすべての臨床医は、必ずインプラント周囲疾患をコントロールしなくてはならない。

その治療方法は、感染のコントロールを目的とした基本治療的アプローチであり、適切な口腔清掃を可能とするような補綴物の調整や専門家によるインプラント表面のバイオフィームや硬い沈着物の除去を含む。進行したインプラント周囲炎では、バイオフィームを破壊し除去するには外科的アプローチが必要になるであろう。外科的療法が適応な場合は、喪失した骨の補修のために骨欠損修復療法が必要となる場合もある。

また、その発症を予防したければ、必ずポケットプローブを用いて早期に問題点を診断し、インプラント周囲の健康状態を評価しなくてはならない。この本で強調しているように、インプラント周囲疾患の早期診断によって非常に有効的に早期治療を行うことができる。もし早期の症候を見逃せば、より複雑な治療が必要になり予後の予測も困難となる。

きりとり線

注文書

Peri-implantitis インプラント周囲炎

モリタ商品コード:805546

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。